

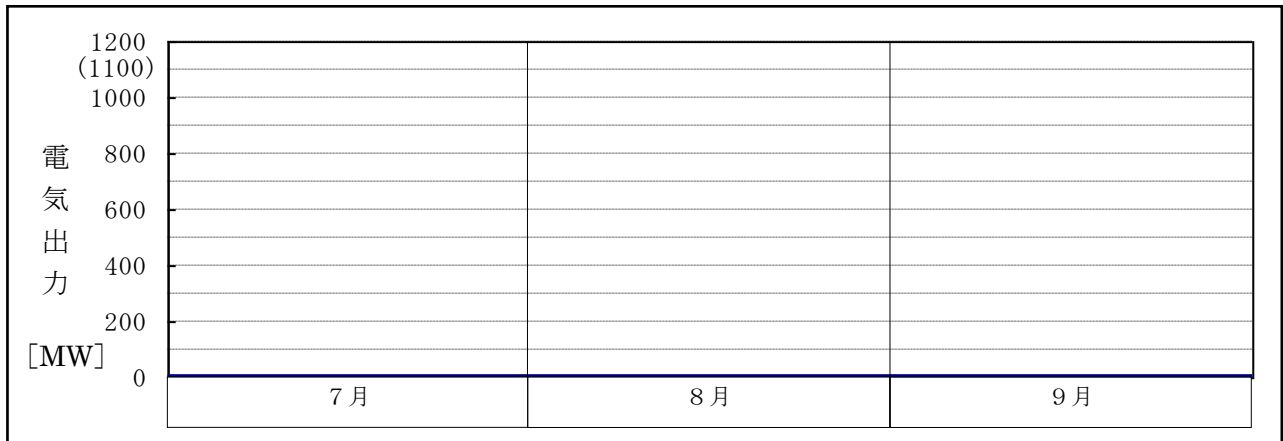
平成29年11月 7日
東北電力株式会社

東通原子力発電所の現在の状況について

1. 運転状況

- 平成23年2月6日より第4回定期検査を実施中

2. 電気出力（平成29年7月～平成29年9月）



3. その他

(1) 東通原子力発電所1号機における中央制御室換気空調系ダクトの点検調査結果について

- 当社は、中国電力株式会社島根原子力発電所2号機で中央制御室内の給排気を調整する換気空調系のダクトに腐食が確認された事象（平成28年12月8日）を踏まえ、平成29年3月24日から9月7日まで、東通原子力発電所1号機の中央制御室換気空調系の全てのダクト（一部の目視点検が出来ない範囲を除く）について、目視にて外観点検を実施しました。
- 点検の結果、中央制御室換気空調系ダクトのうち、外気を取り入れるダクトの表面の一部に腐食が確認されたものの、腐食による穴は開いていないこと、ならびに漏えい検査の結果に異常がなかったことから、中央制御室換気空調系ダクトの機能・性能に影響を及ぼすような異常がないことを確認し、平成29年9月26日、原子力規制庁に報告しました。

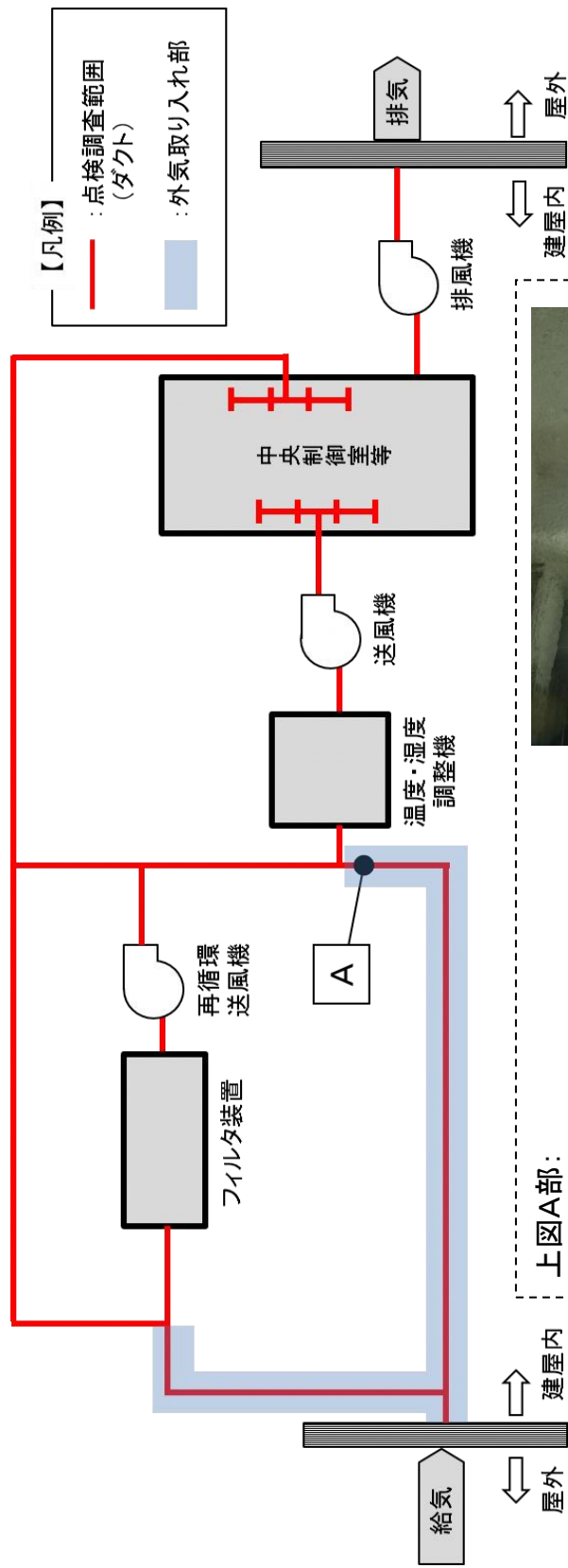
(別紙1) 東通原子力発電所1号機 中央制御室換気空調系ダクト 点検調査範囲

詳細については、当社ホームページから確認することができます。

(<http://www.tohoku-epco.co.jp>)

【中央制御室換気空調系】

- 原子力発電所の運転・監視を行う中央制御室内の給排気を調整する系統。
- 通常時は、外気を取り入れて中央制御室を換気する。
- 重大事故等により、屋外が放射性物質で汚染された場合、外気を取り入れを遮断し、フィルタ装置を介して室内空気を再循環させ、放射性物質が中央制御室内に入り込まないようにする。



上図A部:

外気を取り入れるダクトの表面の一部に腐食が確認された箇所(代表例)

⇒ 腐食による穴は開いておらず、漏えい検査の結果に異常がなかったことから、系統の機能・性能に影響を及ぼすような異常がないことを確認

